



Press Release

オルガノ株式会社 〒136-8631 東京都江東区新砂 1-2-8
問合せ先 機能商品本部 機能商品事業部 薬品部 小島（おじま） TEL.03-5635-5214
経営統括本部 経営企画部 竹井 TEL.03-5635-5111

2014年7月3日

新規非塩素系酸化剤含有スライムコントロール剤を開発、販売開始

【要旨】

オルガノ株式会社は、冷却水処理やRO膜処理向けに、安定性に優れ、かつ安全性の高い非塩素系酸化剤含有スライムコントロール剤の販売を開始しました。同薬剤は、オルガノ独自の技術開発に成功したのですが、世界的な水処理薬品会社であるNalco社（エコラボグループ）の先行技術の使用権を得て商品化に至りました。

主成分は、既存化学物質ではなく、新たに当社が化審法（化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律）登録した安全性の高い新規酸化剤で、極めて高い殺菌・殺藻能力を有しながら、同じ酸化剤である次亜塩素酸塩に比べて金属に対する腐食性が低く、またRO膜を劣化させにくいという特長があります。冷却水処理用途には、同スライムコントロール剤に加えて、防食剤、分散剤を一剤化した複合処理剤も製品化しており、新ブランドの「オルブレイド J シリーズ」として同時発売しました。またRO膜処理用途には、既存ブランドの「オルパージョン E シリーズ」に追加ラインナップして販売いたします。



【開発の背景】

従来の標準的なスライムコントロール剤である有機系殺菌剤は、一定の殺菌効果はあるものの、藻類に対する殺藻効果や剥離除去効果には限界がありました。また、無機系殺菌剤で塩素系酸化剤の代表例である次亜塩素酸塩は安価で高い殺菌力を有していますが、製品中で失活しやすい、金属に対する腐食性が高い、さらにはRO膜を劣化させるという課題を抱えていました。その他に次亜塩素酸塩を安定化した結合塩素系酸化剤も使用されていますが、酸化力が低く殺菌効果が不足することからトラブルが起こる可能性が高いという問題がありました。

そのため、これらの既存薬剤の課題を解決する、安全で殺菌・殺藻効果が高く、低腐食性であり、かつRO膜を劣化させにくいスライムコントロール剤の開発が求められていました。

【開発品の特長】

● 高い殺菌・殺藻性能、優れた即効性

酸化系スライムコントロール剤を配合しているため、殺菌効果が高く、優れた即効性を有しています。また藻類やレジオネラ属菌に対しても高い処理効果がある他、冷却塔やRO膜に付着したスライムやバイオフィルムの剥離除去作用を併せ持っています。

● 優れた安定性、幅広いpHでの効果

次亜塩素酸塩よりも有効成分の安定性が高いため、薬剤タンクや処理水中での失活が少なく、安定した処理が可能です。また次亜塩素酸塩では殺菌活性が大幅に失活する弱アルカリ領域（pH8～9程度）においても、本製品では活性が保持され優れた殺菌効果を維持できます。

● 環境負荷の低い成分で構成

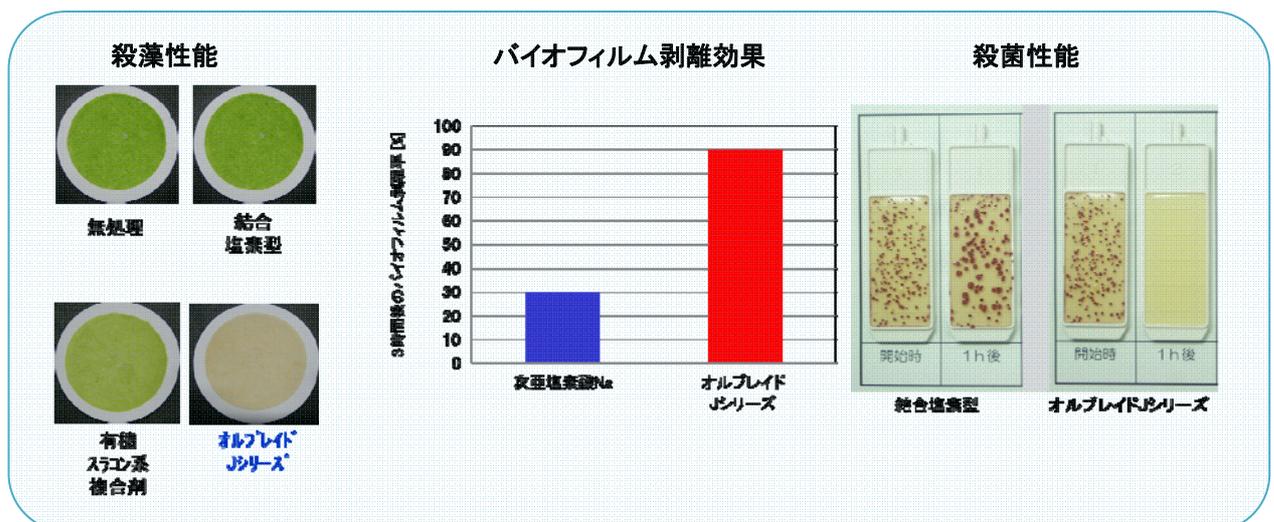
本製品は毒劇物法の毒物・劇物、P R T R法の指定化学物質に該当しておらず、環境規制物質を含有しません。また有機系スライムコントロール剤のように処理水のTOCおよびCODを上昇させないため、環境負荷の低減にもつながります。

● 金属の腐食性、RO膜への影響低減

次亜塩素酸塩に比べ、配管や塔槽類に用いられる鉄及び銅系材質に対する金属腐食性が低く、RO膜を劣化させにくいといった特長を有しています。

● 新規冷却水処理剤オルブレイドの殺藻・バイオフィルム剥離・殺菌性能比較

(模擬水を用いた当社実験データ)



【用途】

冷却水処理、RO膜処理、除菌、消臭など

【販売開始日】

2014年7月1日

【今後の取組み】

当社の水処理薬品販売網に加え、2013年7月に業務提携した片山ナルコ株式会社との連携を活かし、各種産業向けに拡販を進めてまいります。さらには、優れた機能・特長を活かした更なる用途開発にも取り組み、他分野への進出を図っていく予定です。

なお、冷却水処理、RO膜処理関連を含め、初年度1億円、2016年度10億円の売上高を見込んでおります。

以 上

※プレスリリースの内容は発表時のものです。予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。